

秋輪ギク新品種 ‘C241’ ‘C266’ の育成

○木戸君枝・今給黎征郎・仁田尾学<sup>1)</sup>・白山竜次・永吉実孝・田之頭優樹  
(鹿兒島農総セ・<sup>1)</sup>曾於畑かんセ)

【目的】

鹿兒島県ではこれまで、日本原子力研究開発機構と共同で、突然変異育種法により白系秋輪ギク ‘神馬’ に無側枝性を付与した ‘新神’ を育成している。 ‘新神’ は、従来の神馬系品種と比較して茎葉・花容のボリュームに優れているが、低温期に開花が遅れることが課題となっていた。

そこで、 ‘新神’ を再改良し、ボリューム感を持ちながら、低温期の当県主力品種 ‘神馬 2 号’ と同等の低温管理で開花する品種を育成する。

【育成経過】

1) ‘C241’

2009 年に ‘新神’ の培養葉片にイオンビームを照射して得られた変異誘発個体群から 31 個体を選抜し、2010 年に 3 個体を選抜した。そのうち 2 個体について、それぞれ特性の優れた株を系統に分け、2012 ～ 2013 年にかけて 2 系統を選抜した。2014 年に系統適応性検定を実施し、特に 3 月出し栽培では、生育初期から低温管理を行い低温条件下での特性を評価した。その結果、目的とする特性を持つ ‘C241’ を選抜し、育成を完了した。

2) ‘C266’

2009 年に ‘新神’ の培養葉片にイオンビームを照射して得られた変異誘発個体群の 1 個体に 2012 年にイオンビームを再照射し、得られた変異誘発個体群から 18 個体を選抜し、2013 年に ‘C266’ を選抜した。2014 年に系統適応性検定を実施し、目的とする特性を持つ ‘C266’ を選抜して育成を完了した。

【特性の概要】

1) ‘C241’

12 月出し栽培は ‘新神’ と同等の特性を示す (表 1)。3 月出し栽培では ‘神馬 2 号’ と比較して、花容のボリュームが優れ、切り花上位階級率が高い傾向がある (表 2, 表 3)。また、水あげ・花持ちは平均的に良く (表 4)、広い作型に適する。

2) ‘C266’

12 月出し栽培はボリュームがつきにくい (表 1)。3 月出し栽培では ‘神馬 2 号’ と比較して、草丈の伸びが良く茎葉・花容のボリュームがあり、到花日数はやや早い (表 2)。低温期の作型では、水あ

げ・花持ちが特に優れる (表 4)。これらより、 ‘C266’ は低温期を中心とした栽培が適している。また、切り前時の花卉が薄い緑色を帯びるが、開花が近づくにつれ白色に変わる。

‘C241’ ‘C266’ は、無側枝性が強く高温時期の母株萌芽性が悪いため、サイトカイニン剤 (ビーエー液剤) 処理などの対策が必要である。

表1 12月出し栽培における生育・開花特性

品種・系統名	到花日数 (日)	収穫時		90cm切花重 (g)	小花数			合計
		草丈 (cm)	葉数 (枚)		舌状花 (枚)	管状花 (枚)	総ほう片 (枚)	
C241	54	111	60	60	286	55	0	341
C266	52	112	61	55	255	46	0	301
神馬2号	52	122	62	64	250	27	0	277
新神	53	109	59	61	281	52	0	333

注1)到花日数は、消灯日から50%収穫日までに要した日数  
注2)葉数は柳葉を含む  
注3)90cm切り花重は下葉15cmを除去した重量  
※定植:2014年9月3日, 消灯:10月20日, 温度:無加温(25℃換気), 再電照処理:10月31日～11月3日, ガミジツ剤処理:1,500倍で2回

表2 3月出し栽培における生育・開花特性

品種・系統名	到花日数 (日)	収穫時		90cm切花重 (g)	小花数			合計
		草丈 (cm)	葉数 (枚)		舌状花 (枚)	管状花 (枚)	総ほう片 (枚)	
C241	59	99	52	75	199	58	2	258
C266	57	114	53	71	218	35	4	255
神馬2号	59	101	51	72	180	62	0	242
新神	66	105	54	91	214	39	0	253

注)注釈は表1に準ずる  
※定植:2014年11月19日, 消灯:2015年1月5日, 温度:定植～消灯10℃, 消灯～発蕾14℃-12℃(午前1時を境に変夜温), 発蕾以降(2月3日)は無加温, 再電照及びガミジツ剤処理なし

表3 3月出し栽培での切り花階級別割合(%)

品種・系統名	調査個体数	2L	L	M	S
C241	30	50	33	17	0
C266	49	37	43	20	0
神馬2号	31	29	45	16	6
新神	7	86	14	0	0

注)2L: ~70g, L: ~60g, M: ~45g, S: ~30g

表4 水あげ・花持ち調査結果

品種・系統名	11月出し	12月出し	2月出し	3月出し
C241	△	○	△	△
C266	△×	△×	○	○
神馬2号	○	○	△	△
新神	○	○	-	-

注)評価 ○:優れる, △:並, ×:劣る  
※調査方法:収穫後に常温で水あげ処理(水道水), 出荷シミュレーション後, 切り戻して水道水を入れた容器に入れ経過を観察。11～12月出しは閉め切った中期展張ハウス, 2～3月出しはエアコンを25℃に設定した実験室で実施。